



No. 55

42・1・20

発行所 世田谷区愛徳寺一の二八の二
 伊藤先生方 四元〇八九
 社会福祉事業団体
 日本脳性マヒ者協会
 青い芝の会
 編集者 廣報部
 責任者 三誠社 三〇八〇九
 印刷

新年を迎えて

会長 山北 厚

会員の皆さんも昭和四十二年の新春を元気に迎えられることと思います。
 この「青い芝」の会を今年に創立十周年を迎えます。ふり返って見ますと、創立当時の事がまざまざとつい昨日のことのように思い出され、あれから十年も経たとは思えないようです。一方、青い芝が赤い芝になったとか、ピンクになったとか云われたりして来たこの十年間の様々の事を考えますと、それは長い時だったようにも感じられます。
 当会がこの十年に歩んで来た道は決して真直くではなく、その進み方も遅々としたものです。当会が創立された当時、雨後の竹の子のようにいろいろの身障者の会が設立されましたが、その大方はいつの間にか消え去ってしまいました。ともかくも、自分たちの手で運営活動をするという初志を貫き、どこかヒモつきにもならず十年の間会が存続されて

来た（そこには多くの方々の温い援助があったことも忘れてはなりません）ことは、会長の私が云うのはおかしいのですが、一つの威張ってもよいことだと思えます。
 十年前に比べれば、身障者の問題が社会的にとり上げられ、論じ考えられるようになったり、表面的にはかなり改善されて来たように思えます。しかし、その表面を皮はいた中はどうでしょうか？ その表面を流れている考え方は十年前とあまり変わってはいないようです。はいはなしが、身障者と一番関係あり、理解しているはずの厚生省内においてすら、身障者を人間として認めていないフシがあり、また身障者に本心に理解ある施設の職員が次第に追い出されるような動きがあり、私たちが本心に望んでいるのかどうか疑問です。
 このような状況を考えると、身障者の「脳性マヒ」者の人格が認められるように、いろいろの面で更にねばり強い活動をして行かなければならないと思えます。

本部役員改選について

昭和四十二年度日本脳性マヒ者協会「青い芝の会」の本部役員（会則による六人）の候補者を募ります。立候補者は自せん他せんを問いませんが、百五十字前後の略歴（抱負又は推せん文でも可）を添えて二月十五日までに本部事務局へ立候補届けを出して下さい。
 この立候補は本会の正会員なら誰でも出来ます。

立候補した人の氏名及び略歴又は推せん文（抱負）は二月の本紙に発表されます。それと同時に投票有権者（正会員）へ投票用ハガキを配りますから、そのハガキによって立候補者の中から本部役員に適当と思われる人を選らんで投票して下さい。
 この投票で選ばれた六人の中で、会長、副会長、事務局長、会計、会計監査を決めます。

役員会報告

1月15日 定例役員会
出席者 上北、山口、高垣、石橋、星野
中村 (金沢英児)
議題 ①国立身障センターの田中豊氏の配置
転換問題に關連して。②本会四十二年度本
部役員選挙について。③十周年記念の計画
について

高垣 一機部からの伝言を伝えるが、国立身
障センターの田中豊氏へ視力障害センター
に転勤してほしいとのはなしがあり、田中氏
は転勤の意志はなく、また、身障者の良き理
解者である田中氏が身障センターから出され
ることに「根っ子の会」「更友会」等も反対
なので、明日配置転換反対の抗議を厚生省で
行なうことになっているが、青い芝としては
この問題をどうするかということである。
高垣 一 今度の田中氏に対する配置転換のは
なしは、「センターで医療する」の運動、和田
先生の転任反対運動のはねかえりと考えられ
る。また、当局として和田、田中といううろ
さい人間を排除してセンターを意のままにし
ようというところもある。・・・いまの「更生指
導所」を「判定センター」に変更するらしい。
金沢 一 これは対厚生省の問題だからもつと
厚生省と話し合おうと思う。
星野 一 青い芝としては人事問題としては
なく、障害者の医療問題としての見地からな

らやるべきだと思ふ。
高垣 一 どうも今日の新年会の様子を見てい
ると親睦団体だという感が深い。青い芝は
親睦団体なのか社会活動団体なのか?
金沢 一 その中間にもいろいろあることがあ
ると思う。つまり、施設の実態を調査したり
会員のおかれている位置について調べるとか
会員の意識を向上させるようにするとか。
石橋 はっきり云って、人を動員することに
は不可能だ。
山北 一 個人の人事問題としてはなく、身
障者の医療問題として文書活動等で協力する
ことは考えられる。
結論 一 さし当って明日は行ける者が行く
ことにする。

② 本部役員の出方法は、前年と同じに
行なう。
③ 十周年記念のことについては時間がな
いので次回に検討することにする。
(文責・山北)

田中氏転勤の問題は、結局、辞令を受諾し
て終り。
小生の寝言 高垣 一
作今種々のC・P者のケースを見て居る
とC・P者はC・Pだけの障害ばかりで

はなしに心理的に異状になつてしまふ例
が非常に多くなつて居る様な気がします。
幼児から少年、青年と成長して行くにし
たがってだんだんと異状性格的な者がふ
えて来た様に思へます。
最近小生の所であつたケースだけでも
例を上げて見ます。
① K・K (全) S 12年生 C・PN 大卒
施設の職員をして居た時同じ職員に失恋
薬のれん用を始め自殺未遂三回、その
施設もやめ他の職場をてんと歩いた
が最後に路上でふく毒し急救車で病院に
はこばれた。今では完全な精神異状者と
なつてしまつた。
② Z・A (全) S 15年生 C・P 中卒
一つの職場で長続きせず、つとめてい
ると全く無断で長期にわたり休んでしまふ
一見明朗で性格的には明るい様に見える
頭も悪くない身体的には軽度である。職
場の方ではやめた物と思つて三ヶ月
月目ぐらいにふらりと出て来る。夜中に
とつぜんまどを明けて笑い出したり涙を
出したり同室の者が気が悪くして一緒に
生活出来ないと言つて居る。本人は結婚
したが仕方がない。
③ 今時間がないので二例をあげただけで
すが実はこの様な例は十数ケースも有り
中には全くはい人々になつてしまつた者
も五・六は有ります。小学生の頃はおろ
う正常で成長するに足らなかつた異状にな
つてくるのです。なぜ異状になるかその
原因その他は 以上次回に

事務局便り

石橋 玲 二

一月九日初出勤の事務所は剣道の新年会の
跡を残し、一升ビンや皿が散かして居る。そ
れをかたづけただけ、早く独自の会館を持ちた
いと思う。事務所、会議室、図書室等、それ
にアパート、地方会員の宿泊室、さらによく
を云えば共働きの人々の為に保育園も必要
だ、などと思ふ会も本年でとうとう十年にな
る。こゝらで初心に帰り、地に足をつけて
前進してゆきたいものである。前記の会館な
どもいつまでもビジョンにおおることなく、
もう青写真段階に入らねばならないのだが、
・・・

◎一月十五日、役員会において、センター
田中先生の、配転が議題になる。国立センタ
ーの橋頭堡を守る為にも田中先生の配転に反
対しなければならぬと決定する。
事務局としては、日曜日以外の会員動員は
多くを望めないと思ふと発言した。しかしそ
の他の方法による配転反対はおこなえるので
全力をあげようと思ふ。

◎会十周年記念号は十一月発行を目標にし
ているので現在その原稿を求めている。
◎一月十五日青い芝の新年会は例年どおり
の盛会であった。しかしくらくら口をすっぱく
して三つも、あいかわず申込なしで来る人
が多いのはどうしてだろうか。昼食の準備等
にさしつかえるのだが。・・・

Sつも思っている事

佐 脇 曉 子

青い芝の会の会員の皆様明けましてお目出
度うございます。
皆様方良いお正月をお迎えになられた事と
思います。
私は、昨年の三月に入会させて頂いた大阪
市に住む脳性マヒの二女性です。
今日は少し私の前々から感じていた事を皆
様方に聞いて頂きたいと思つて、拙い文で
はありますが書いてみました。
私は小学校を卒業後急に、大阪府の身体障
害者職業訓練所洋裁科へ入所したのですが、
一年後に何一つする事が出来ないまま卒業
させられてしまったのです。それは私の様な
両手の不自由な者を中心した訓練はされてお
らなかつたからです。
それ以来私はずっと一つの矛盾を感じてお
ります。それは今の身障者の職業訓練所へ入
所出来る下肢の軽度者であればいくらでも、
一般の会社や工場に入社出来るに仕事をし
て行ける人だちばかりだと思つたのです。たか
らその工場で働きながら技術を身に付けて行
けば良いと私は思つたのです。

本日に職業訓練の必要なのは私たちCP者
ではないでしょうか。(特に手の障害者です)
私たちCP者は、ある程度適切な訓練を受
ればいくらかでも、仕事が出来る様になれる
人が出て来るのではないのでしょうか。

今の訓練所制度はまちがっていると思ひます
私の様に手の不自由な者でも、働きたいと
言う意思のある者には少しも、働きたいと
言う意思のある者には少しも仕事が出来
る様に訓練して頂いてこそ本當の職業の訓練
所の価値があるのではないのでしょうか。それが
この私の体験からいふと、きりと言へるのです。
現在私は、一人前になるまでは行かなく
ても婦人服の縫工所で働いております。始め
はほんの少ししか仕事も出来なかつた私です
が、二年余り経つた現在はいかなり仕事も出来
る様になり今の職場では無くてはならない存
在に成つて来ております。
もし十年前入所した訓練所で手の不自由な
私たちCP者を中心にした訓練をして頂いて
いたら、八年間も長い間遊んでいなくとも
よかつたのではないかと残念に思ひます。
又、最近私の友人のSさんも訓練所への入
所を希望されて見事に断られたのですが、
今は不自由な手で隣の近くの紙工所で働いて
おられます。

この事実を見て我々CP者もっている力
を合せて今の福祉制度を交えて行きたいとい
つと思つておられます。
最後にこの青い芝の会が、ともっと大き
く発展して行く事を祈つておきます。
大阪市生野区大瀬町三一八
大瀬荘内

社会性について

金沢 英児

昨年は「青い芝」で社会性についてということが再三取り上げられた。そして、我々の社会性が欠けず保たれるべき時から社会性に出るべきが少ないためであり。それで社会性を養うためには社会に出ていかねばならないというのが大方の意見であったように思う。しかし、社会性は社会に出ていけば、又社会に出ていくことによってのみ身につくものであるか。「あなたのところへは会報を送ってこなくなるわよ」と女房に云われるように、いつも批判ばかりしているようで恐縮であるが、たしかに社会に出ることは社会性を身につける。そしてそれを養う契機とはなるが、しかし、必ずしもそうなるとは限らないことは、小さい時から社会に出ていたであろう管のふつうの人達(大臣や代議士からしてだが)にも社会性を欠いた人がいるのも見ても考えられることであろう。

そこでよくは、社会性とは社会に出て云わば経験的に身につけるともいふ、社会性とは何かということに概念的に学ぶこともまた大事なことではないかと思う。尤も、経験的に概念的にと云っても概念的に学んだものを経験的に身につけ、又経験的なことを概念的により確かなものとするように両者は相互的なものであるが、またそうでなければならぬが……。

では一体社会性とは何か、難しいことは分らないが、保たれる社会性とは總体的に云って社会に於て自他共によりよく生活していくための要件であると思う。

そして、それは具体的に云うと、約束や、ルールを守る。物事を多角的に考える。或は公私のけじめをつける等々のこととなるが、それらを通して基本的なことは、社会とは少くとも二人以上の人間で成立しているものであることからして、社会性とは自分のことばかりでなく(よりきびしく云うなら自分のこと以上)相手のこと、多角に人々のことを考えることではなからうか。そして、それが社会性の基礎であり、またそれによつて基礎づけられねばならぬと思ふ。

ところで、昨年は大臣や代議士の不祥事件が相つたが、本来最も社会性をもっていないければならぬ管の政治家が、甚だ社会性を欠くとも云える事を仕出かすことに腹が立つ。しかし、人間誰しも已れを第一にするような、またま自分の利益を考ふるような意味での、自我のある限り常に社会性を欠くことをするおそれがあるのではないだろうか。また我々は(もちろん自分も含めて)自分のためを思つて、社会性のあること(トドのつまれば、社会性にもとるような云うならば似非、社会性を身につけてはいないだろうか。(社会性があるとはまた、たんに人づき合いがいか、世渡りがうまいというのではなく、結果的にはそうであつてもより次第のないものだと思ふのだが)

何れにせよ、真の社会性は理念的に学び、経験的に身につける以上に、右のような自我への抵抗において、総じて云えば人間そのものへのかゝり合いにおいてこそ養われるものであるかもしれない。

なお、先に社会に出て必ずしも社会性がつくとは限らないと云つたが、逆に社会に出ることによって社会性を失う。少くとも社会性などどうでもいふようなことになるとも考えられる。つまり、それだけ社会はきびしいのである。従つて、そのような社会に於て以上述べてきたような社会性をもつて生きていくには、その社会のきびしさと戦わねばならぬともいふ、社会性をもつた生き方を、もっと大きく云つて人間的によりよく生きることを、否我々のような立場の者の場合はその生活していくことすらをも阻害し困難にするような社会を、そのゆがみや不合理を見つめ、それを正していかなばならないとして、そのこと自体社会性のもう一つの側面ではないかと思ふのである。

「そう」と云えよ!!

矢田 昌子

先日、母方の法事に母と行ききました。母は、こうした席にもなるべく多く出るようといつて、鎌倉の時には、少くとも多く作法を覚えて頂きました。人目にも自分自身に対しても、はずかしくない様に、私を連れ出してくれました。

おじ、おば、いとこの三人ぐらしの家へ、

着いたとたん、昨年の事を思い出しました。成長してはじめて招かれた。もう一軒のおじ夫婦の家で(法事)、アテトーゼ型の私は、茶わんを持つ手がふるえるのを、そして、顔筋のゆがみをする事も出来なかつたあの時の事でありました。

そして、今度は昨年同席しているし、前にも会つているので少しは私の神経も安心したのでしよう。茶わんを持っても、何をするのにも手は普通のまゝ、顔筋もほんの少しのゆがみだけと云うコンディションでした。

前夜、自分でも不思議な位、スムーズに、いとことおじとの会話に思はず。「そうそう」と、合つちの単語が口から出ました。其の時、いとこ等は、はじめて私がしゃべつたのにもかゝらず、少しもびつくりせず笑い乍ら会話を進めていきました。

そんな態度が、私には何よりも嬉しく有難いと思われ、心づくしに感謝しなくては出来ませんでした。とつてもあたまかいか感じでありました。

翌日、おばの手伝いもして酒のさかなを作りました。御経がすんだとたん、いとこと二人でシビレた足をさすり乍ら、笑つてしまいました。母親たちは、私たちを見てにが笑いをしていました。

此の楽しかった事は私にとつては、とても尊しかった思い出の一夜は、あつと云う間に過ぎおりました。

前号の「勉強会」は、今の私には、こんな

体験を書かざるには居られない程、感動を受け又、吉田さんの手記の最後の部分、つまり「アテトーゼ型はちよつとした空気で、調子が乱れやすく、それは場なれをするより方法がない」とありましたが、これも私にとつても参考になり、これからも、場なれする様、心がけたいと思ひます。

創立九周年を迎えられた。青い芝の会が、今後ますます御発展をされます事を、お祈りして居ります。

紅葉の美しい山々にかこまれた遠い紀州の下で……

我が道を行く (Going my way)

杉浦 ちえ子

私の年は28才の独身です。今28才の学生です。アテネフランスでフランス語を習うにいています。父が英語の教師であるその血を受けついでか語学は好きなものの一つです。クラスの友達は健全者の人ばかりです。先生はフランス人です。講義もすべてフランス語で行われます。私は手がゆるいし、言語障害と話し方がよくスロウですが、先生の書かれる文字はどうかこうか書けますし、話す方も自分からすんで話します。私が行くカトリック教会であらうドイツの青年とは英語で話します。私にはおそいけれどどもらない言葉があるのです。だからめぐまれて

いないなかでもめぐまれているのかもしれない。フランス語は最後までつづけて行こうと思つていまして翻訳家としての道を行つて行こうと思つていまして。ムスカシイけれど翻訳家としての道を行つていくつもりです。よい協力者やよい理解者に甘んじながら努力して……

私は私の道を行く
かこはなみだでぬれた道
未来は星でひかっている
ほらほら未来がよんでいる
いろんなことがあるけれど
なかなかわらつてお歩るごと
歩るていこう
歩るていこう

I am going to work
As a translator
French into Japanese.
I am going my way

そして28才の私は結婚の事を正直いって考え、ていまして、相手がいても今はしません道をひらいてともかせぎが出来るようになつたら相手にかつけて結婚だけはするつもりです。今大変に多忙中。だけとお手紙ください。た方には必ず出すつもりです。